

学際的アプローチと考古学研究

2015年4月18日 土

13:30～ 総会
15:10～ ポスターセッション
15:45～ 講演

甲元眞之 環境変動と考古学研究

17:15～ 特別研究報告

中塚 武 酸素同位体比年輪年代法がもたらす新しい考古学研究の可能性

【会場】

岡山大学創立五十周年記念館

(岡山市北区津島中1-1-1)

【参加費】 会員1,000円 非会員：2,000円

2015年4月19日 日

9:20～ 研究報告 1

藤山龍造 更新世から完新世への推移と人間活動
—学際研究の現状と課題—

10:05～ 研究報告 2

江浦 洋 水田遺跡の調査をめぐる学際的アプローチ

11:00～ 研究報告 3

岸本直文 炭素 14 年代をふまえたヤマト国像と倭国形成問題

13:10～ 研究報告 4

丸山浩治 考古学的手法を用いた火山災害研究
—10 世紀の巨大噴火と東北地方北部における人間活動—

14:10～ 総括討議 コーディネーター 清家 章・小林青樹

